

○ともに学び合う子 ○みとめ合う子 ○やりぬく子

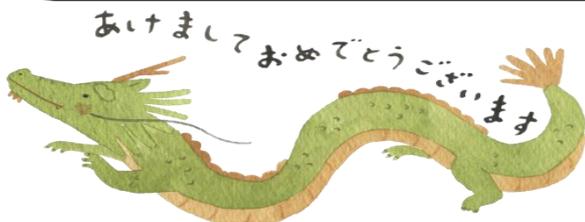


とみや



富谷市立富谷小学校便り 令和6年1月10日 第11号

～学校、家庭、地域の連携で、『早寝 早起き 朝ご飯』の推進を～



あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

令和6年 富谷小学校教職員一同

1月9日(火) お話集会での校長先生のお話

全校のみなさん。おはようございます。始めに、みなさんも知っているとおりの、この冬休み中、大変悲しいニュースが続きました。北陸地方を襲った大きな地震と航空機の衝突のニュースです。亡くなられた方のご冥福と被災し、今も復旧のために頑張っている方々へのお見舞いを全校のみなさんと一緒にお祈りしたいと思います。

さあ、新しい年、2024年を迎えました。改めて、みなさんと新年の挨拶をしたいと思います。新年明けましておめでとうございます。12月のお話集会で青砥元校長先生からお話ししていただきましたが、今年は富谷小学校のこの校舎ができてちょうど**50年**という大きな節目の年となります。みなさんと一緒にこの一年をすばらしい一年にしたいと校長先生は思っています。今年もよろしくお願いたします。

さて、今年は**辰年(たつどし)**です。「たつ」は漢字で「辰」と書きますが、この字だけでなく、「**竜**」という字や「**龍**」という字も使われています。十二支には、「たつ」を除いて、後は、今年の「うさぎ」のように、本当にいる動物が当てはめられています。「たつ」だけが昔から伝わっているお話に出てくる動物で、本当にいる動物ではありません。「たつ」は天に向かって昇るように、強くて勇ましい生き物と言われています。みなさんが「強い心と体」をつくるために、自分を鍛えるのに、今年の「辰年」はぴったりの年であると思います。

また、「たつ」は、「**立つ**」という字にもつながると言われています。校長先生が「立つ」という字で思い浮かべた言葉は、「**自立**」という言葉です。「自立」は「自分で立つ」ということです。「自立」は、「人の力を借りなくても、自分の力でいろいろなことができる」というような意味になります。

「たつ」が天に向かって昇っていくように、全校のみなさんには今年一年いろいろなことに挑戦し、自分の力でできることをたくさん増やし、力を伸ばす年にしてほしいと思います。

目標を立てると人は頑張ることができます。ぜひみなさん一人一人が今年「やるぞ」という目標をしっかりと立て、それに向かって頑張ってくれることを期待しています。

今日から後期後半が始まりました。「**1月は行く**」「**2月は逃げる**」「**3月は去る**」という言葉をお耳にします。

これは、1月から3月までの3か月が、あっという間に過ぎてしまうことを例えた言葉です。後期後半は、1年間のまとめをする大切な時期です。**一日一日を大切に**過ごしてくださいね。今日から気持ちを新たに頑張っていきましょう。これで校長先生からのお話を終わります。